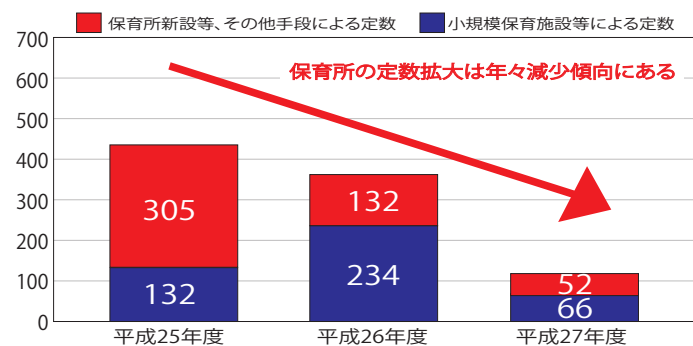


▶ 今後の子育て関連施設整備はより丁寧な対応が重要です！

西宮市では平成28年度の待機児童数が昨年に比べ107人増の183人となっており、対策として市は**今後3年間で約1,500人の受入枠を拡大**することで、**待機児童の解消を図る**としています。

従来の待機児童問題は0歳から2歳の児童が中心だった為、過去3年間の定数確保では、こうした0歳から2歳までの受け入れが可能な小規模保育によって行われてきました。ところがその結果として、皮肉なことにこれまで**比較的余裕があるとされてきた3歳児の受け入れ施設が足りなくなる**ことが原因となり、**待機児童が発生**する結果となっています。

【資料】過去3年間の保育所定数拡大の内訳



上の資料にもある**過去3年間で実施された保育所定員枠の拡大が1,000人に満たない**ことから、今後3年間で1,500人の受け入れ枠拡大は極めて困難であることがわかります。さらに新たな保育所の整備は、働く保護者の送迎負担を考慮すれば駅前等が望ましいとされていますが、適した場所の確保が困難な状況となっています。これらの状況を踏まえれば、**従来の手法による大幅な定数拡大は困難であり、課題の解決には新たな対策が必要不可欠**です。

私はこの問題に対して、**以前より送迎保育ステーション事業の導入を提案しています**。この事業は市内の主要な駅に送迎施設を設置し、出勤前の保護者が児童を預け、保育士が搭乗したバスに児童を乗せて保育施設まで送迎を行います。この事業によって

- ◆待機児童の多い地域から比較的少ない地域へ児童の移動が可能となる
- ◆送迎負担を理由に整備範囲が限定されていたが導入によって整備の対象範囲を拡大できるなど、今後の待機児童対策に大きな効果をもたらす期待があります。

待機児童の問題は働く保護者にとって死活問題です。**待機児童問題が保護者にとって働きたくても働けない環境であることを考慮すれば、さまざまな対策によって速やかに解決しなければなりません。**

一方で、**芦屋市で認可保育所の整備が近隣住民の反対により断念となった事例や、全国各地で保育所など児童関連施設の整備が近隣住民等との調整がつかず難航している**ことなど、子育て関連施設の整備が難しい状況を考えると、施設整備について今後はより丁寧な対応が必要とされています。

私は9月定例会の一般質問で、こうした状況を踏まえ、今後の待機児童対策の対応について質問を行いました。質疑の中で市長は「**非常に残念なことに本市においても近隣住民の合意が得られなかったことで留守家庭児童育成センター整備を断念した。まさか、この西宮でも、信じられないような気持ちだ。ほんとうに悔しいし、悲しいこと。西宮には子供への敬意と愛情を持ってほしかった**」や「**地域に疎まれ、憎まれるような施設で育つ子供たちが、幸せなわけがありません。**」など、**まるで整備を受け入れなかった地域の住民が悪者であるとも受け取れる発言を行っています。**



私も過去には子育てへの理解が至らない世の中であると感じたこともありましたが、市長が仰る内容について一定理解も出来ます。しかし子育て関連施設がある地域では、一部の保護者による送迎の車や自転車によって、通行の妨げや事故への不安など懸念を抱えていることや、保護者同士の雑談などで長時間道路を占拠することなど、**施設を利用する保護者が知らず知らず地域へご迷惑をお掛けしている可能性もあります。**2児の父親として、地域の声を反映する立場として、保護者側も地域への配慮が必要であると考えます。

市長がこのような発言を行うことは、市民の皆様が**施設整備に対してより消極的な感情へと硬化させてしまふ恐れがあり、待機児童対策が益々遅れる可能性があります。**今後整備が予定されている地域については、**児童施設の整備計画によって不安な思いをされる市民1人1人に寄り添い、より丁寧な対応で課題に向き合いながら、今後一層の取り組みを行っていただくべきだと考えます。**今後も様々な提案を行い、待機児童の解消に向けて全力で取り組んで参ります。

定期掲載のはまぐちコラムは掲載枠の都合で今回はお休みとさせていただきます。



市政報告No.5 2016年11月
無所属 保守系 会派・せんしん

街の声を大切にする身近な政治家を目指して

西宮市議会議員 ひとし
はまぐち仁士

苦楽園で生まれ育った2児の父親。皆さんの目線で街の声を市政に届けます。



＜プロフィール＞1972年6月西宮生まれ。既婚2児の父。市立大社幼稚園、市立苦楽園小学校、市立苦楽園中学校、兵庫県立西宮甲山高等学校卒業。神戸ベイシェラトンオープニングスタッフ等を経て1998年に松原町にて「Cafe&Bar savro(三郎)」、2000年に西宮浜にて「Trattoria & Cafe COMODO」をオープン。2014年西宮市長選挙でスタッフとして活動後、政治家私設秘書に就任。2014年9月末で秘書業務とすべての店舗を撤退して政治活動を開始。2015年4月に行われた西宮市議会議員選挙にて1983名からのご信託を頂き初当選。

TEL:090-8167-8136 Mail:h.hamaguchi0602@gmail.com

<http://goo.gl/pEHp1>

<http://h-hamaguchi.sakura.ne.jp/wordpress/>

はまぐち仁士



★はまぐち仁士とお話しませんか？カフェミーティングのお知らせ★

カフェミーティングは地域の声をお聞きするのが目的です。今回のテーマは**幼稚園について**です。願書や通園環境など、皆さんの悩みや疑問をお伺いして市政に反映させるのが今回の狙いです。お手数ではありますが、参加をご希望の方は**Mailにてお申し込み**をお願いします！

◆第5回:11月10日(木) 時間:午前11時 場所:ノイカフェ 苦楽園店(樋之池町9-12 ファルコ夙川 2F)*お子様と一緒での参加でも構いません。

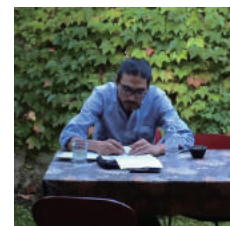
参加費は無料です。(但しお食事やお飲物は各自でご精算となります) *ランチを食べながら行うミーティングです！お気軽にご参加ください！

*お申し込みはこちらから→h.hamaguchi0602@gmail.comまたは**はまぐち仁士公式HPのお問い合わせフォーム**よりお願いします。

★一緒に公園を綺麗にしませんか？定期清掃活動のお知らせ★

公園清掃と一緒にしませんか？下記の日程で公園清掃を行います。清掃を行いながら公園のあり方などをお話したいと考えています。今回は**新たに硬くなった砂場を掘り起こして柔らかくする作業**も行います！ご参加いただける方は暑いので帽子や飲み物などを必ずご持参下さい！

◆11月20日(日) 松谷公園 (ごみ拾いは午前10時から30分程度、砂場作業はごみ拾い終了から1時間程度を予定しています。・雨天中止)



【表紙デザイン】＜タイトル＞西宮の自然 ＜制作＞玉村へびオ

イラストレーター。幼い頃なりたかった「昆虫博士」と少し形は変わったものの今でも生き物や、架空の得体のしれない存在を描くことを得意とする。見る人が絵の続き、ストーリーを想像してしまうイラストを心掛け、ロゴマークや挿絵、キャラクター等の作品を制作。著書に「へびオの動物折り紙(日本ヴォーグ社)」がある。

*表紙デザインは西宮市の文化振興を目的に、西宮ゆかりのアーティストが絵を描いています。

発行者：西宮市議会議員 はまぐち仁士

② 余裕教室を活用して学童保育児童の受入れを進めるべきです！

本市の学童保育において待機児童と小学４年生以上の受入れが大きな問題となっています。しかし新たな育成センター整備は、学校敷地内や近隣地など有効な場所が不足しており、計画が進まない状況です。

大阪府堺市では図書室や多目的ルームなど*①余裕教室等を活用した学童保育を実施しています。このような教室の活用は新たに教室を確保しなくても実施が可能です。また、こうした対策によって

- ◆市内全ての学童保育を教室で実施した場合、育成センターの建替費用約33億円の削減が可能
- ◆育成センターが整備されないことで、こどもたちが校庭を広く使える

など大きな利点もあります。

*① 余裕教室：児童生徒の減少により将来とも恒久的に余裕となると見込まれる普通教室のこと。空き教室も余裕教室と同義として使われる。

③ 児童により優位な環境となる教室確保や学級編制が重要です！

夙川小学校など一部地域の小学校で就学前児童の数が増加し、今後児童の受入れに必要な教室の確保が困難となる可能性があります。受入れ教室の確保には仮設校舎の建設や校区変更等の手段がありますが

仮設校舎については

- ◆建設によって校庭が狭くなる可能性があること
 - ◆およそ3,000万円の建設費が必要となること
- また校区変更については
- ◆変更時には地域の方へ相当な心理的負担を与える可能性が高いこと

など課題が存在しており、児童数が増加した地域における教室確保には有効な手段が存在しません。

そこで私は学級編制の弾力化を提案します。この手法では１クラスの人数が35人を超えても、学級数を増やさずに対応を行うことで教室を確保します。公立学校の学級編制基準は、1年生が35人、2年生以降は40人となっています。西宮市では兵庫県が進める新学習システムを利用して、2年生から4年生の児童においても35人を基準としています。

この問題について私は「余裕教室を活用して待機児童と市内全学校における小学４年生の夏休み期間の受入れを最優先に解決していくべきだ」との質問を行いました。

これに対して教育委員会は「保護者の就労等に伴う放課後や夏休みなどにおける子供の居場所の確保については教育的な配慮が必要」と回答した上で「教室の活用を進めるため教育委員会として協力していく」との回答をいただきました。

今後も待機児童の解消はもちろん小学４年生の受入れ問題についても、夏休みだけでなく通年での全市受け入れが実施出来るよう働きかけていきます。

こうした対応は少人数学級が教育上優位であるという考えを基本に実施されていますが、新学習システムでは学級数を増やさずに35人程度に学級編制を弾力的に実施する際、1学年につき1名の教員が加配できるとされています。加配教員が担当学年の学級支援業務を担うことで、配慮を要する児童へのケア、学級運営補助等の業務など、担任が児童に対して目が行き届きやすくなります。学級崩壊など担任だけで解決が難しい問題に対して有効な体制となる可能性もあることから、学級編制の弾力化は児童の教育環境を優位に保ちながら、教室の確保も同時に行えると考えます。

私の一般質問での「今後は学級編制の弾力化も教室の確保対策として検討してはどうか」との問いかけに対して教育委員会は「慎重な判断が必要。得られる教育効果を考えれば極めて限定的対応になる。」との回答でした。長期的には西宮市でも少子化が進むことで空き教室が増えると予測されており、今後教室の活用について議論が必要となります。今後も教育環境のあり方と教室活用について調査・研究を行って参ります。

④ 相談事業は目的に沿った効果を追求し、明確な効果を発揮すべきです！

深夜にこどもの体調が急変した際、受診や相談ができずに不安を抱かせている環境を改善するため、市は平成27年7月に24時間対応の電話相談サービス「健康医療相談ハローにしのみや」を開始しました。この事業の目的は

- ◆深夜帯における体調の急変など緊急時における市民の不安解消を図ること。
- ◆不要不急の119番要請や救急医療機関の受診を避け、適切な利用を促すこと。

であり、それぞれの目的に対する効果について検証を行うことが重要です。

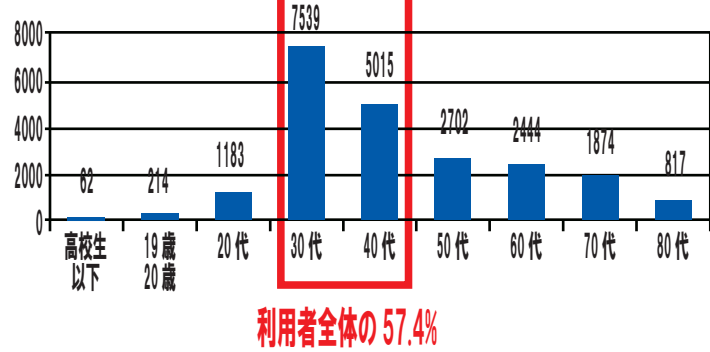
ハローにしのみやの相談件数は、28年3月までの入電件数が延べ13,325件で１日あたりの相談件数は48.5件です。電話で相談を受ける方は全て医師や看護師の資格を持つ方々なので、医療の専門知識に沿った対応や助言が可能です。表を見れば相

談者は30代から40代の子育て世代に集中しており、相談対象者も就学前児童に集中していることから、この事業が育児に不安を抱える保護者にとって有益であることがわかります。一方でこの事業には以下の課題があります。

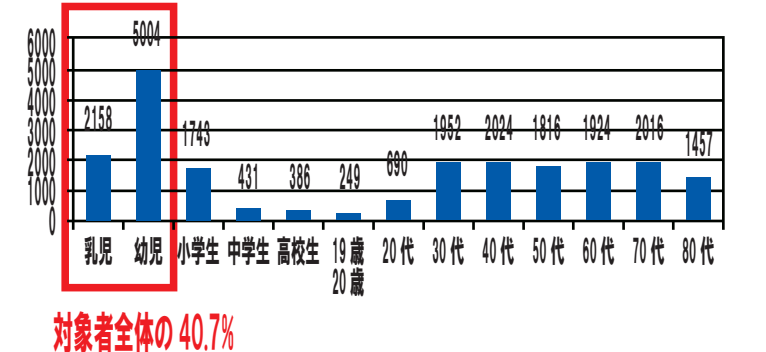
- ①電話対応は東京で行われており、オペレーターには西宮市の土地勘がない。
- ②病院紹介の際、今から通院可能かなどの電話確認で相談中でも一旦電話を切らなければならない。
- ③病院紹介は自宅から近い順に行う為、症例に見合った案内とならない可能性もある。
- ④ハローにしのみやの認知度がそもそも低い。

私は利便性を向上させるためにも、利用者の声を拾い上げ、課題を掘り起こして改善に努めることを、市から働きかけるよう要望しました。今後も効果的な事業となるよう引き続き取り組んで参ります。

【資料】平成27年7月～平成28年3月期間での利用状況
＜相談者年代別＞



＜相談対象者年代別＞



⑤ 西宮市卸売市場の再整備事業は難航しています。

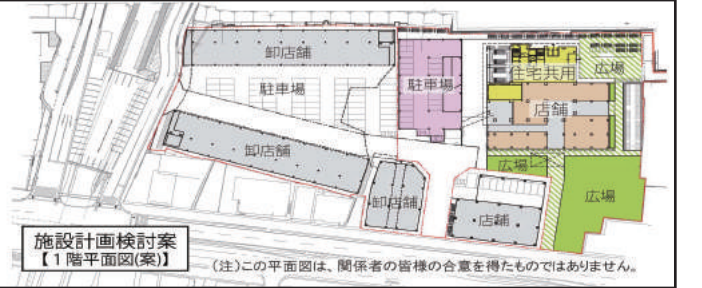
JR西宮駅の南西にある西宮市卸売市場では、施設の劣化や防災上の問題から再整備が計画されていますが、計画が遅れるなど難航しています。

市は平成25年度から本格的な西宮市卸売市場の再整備事業について、①公設市場と民設市場の統合②民設民営で新市場を開設運営③現在地での新市場整備という3つの方針によって進めています。現在の市場がある区画を整理し、東側を民間企業によるマンション開発等とし、残りの場所は卸売市場の継続を希望する関係者が、新たに設立する新市場会社によって市場施設を取得し、管理運営を行います。

昨年10月には継続希望者に対して、施設整備に約3億7,500万円の費用負担が必要との試算が出されましたが、賃料や維持・管理費用など負担が大き

いことから、一部の市場関係者から整備後の継続について懸念の声が出ています。市はこの負担軽減を含めた具体的な対応策を、1年が経過しても未だに市場関係者へ示しておらず問題となっています。市が公費によって負担軽減を検討しているという噂もあり、市税を投入する場合は速やかにその手法と明確な根拠を示すべきです。西宮市卸売市場の再整備事業について、これからも注視して参ります。

【資料】西宮市卸売市場再整備事業 計画検討案



【資料】学級編制の弾力化について

